

# みなさんからの陳情は こうなりました

3月定例議会で審査した陳情の委員会意見と、委員会での審査の様子本会議での採決結果を報告します。

陳情の内容	陳情者	委員会の意見・結果	付託委員会	本会議採決結果
「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）」の法制化を求める意見書提出	鳥取県精神障害者家族会連合会 会長 濱崎智熙	こころの健康は国の総合的、長期的な政策を保障する基本法制定が強く求められている。全会一致で採択。	教育民生	全会一致
公的年金引き下げに反対する意見書提出	全日本年金者組合 鳥取県西部支部 支部長 松本正孝	特例措置は高齢者の生活を守り地域経済を活性化するためには必要。賛成3人、反対2人で採択。	教育民生	採択に賛成 16人 反対 1人
障害者総合福祉法（仮称）の制定を求める意見書提出	鳥取県ろうあ団体連合会 会長 荻原耕三 (外2名)	障がい者が自分らしく暮らせる社会を実現するためには、総合福祉部会の提言を反映させた法が必要。賛成4人、継続1人で採択。	教育民生	全会一致
行政当局に中高ふれあいセンター（隣保館）館長解雇を求める提言	坂田丈夫	中高ふれあい文化センター（隣保館）館長が、大山町に損害をもたらしたとは認められない。全会一致で不採択。	総務	採択に賛成 0人 反対 17人
TPP参加に向けた関係各国との協議中止の意見書提出	農民運動 鳥取県連合会 代表者 今本潔	農林水産業、医療や食の安全などの分野で、TPPに参加した場合のデメリットが多い。採択4人、不採択1人で採択。	経済建設	採択に賛成 14人 反対 3人

## 【議論】 TPP参加協議の中止

### 【経済建設常任委員会】

【賛成】 農業分野だけでなく、日本のよい面があやぶまれる。

【賛成】 初めはよいと考えていたが、やはりTPP参加には反対。農業だけをみても、その地域の伝統文化が全部こわされてしまう。

【反対】 自由貿易はどんどん進む流れにある。貿易の自由化には賛成だ。

【反対】 政府は交渉に早く入って有利な条件を引き出したい。TPPに参加することは心配ない。

【賛成】 世界中が貿易の自由化に向けて進んでいる。いやだといってもTPP参加の社会情勢になっていくと思うが、今は参加に反対。

【賛成】 大山町の基幹産業は農林水産業。深刻な影響が出る試算でもあるので、デメリットが多いと思う。医療や食の安全にも影響がおよぶのでTPP参加

に反対。

【反対】 これだけ保護されていると、日本の農業はよくなる。消費者の視点に立つて、需要がないものはなくなっていくべきだ。

【賛成】 根本的な解決がはかられない限りは農業を守るしかない。

【賛成】 食の安全性が分らないまま、安いものを買わされる不安がある。

【反対】 関税を撤廃しても、よいものを作っていれば生き残れる。何を買うかは消費者の問題。

【賛成】 遺伝子組みかえの野菜などが輸入されても、わからない状況になる。国内のように検証できない。最初から聖域なき関税撤廃は危ない。